

マテリアリティ

サステナビリティ情報開示の国際基準であるGRIスタンダード[※]を参考に、東邦ガスグループビジョン(以下、グループビジョン)の検討に合わせ、ステークホルダーからの期待などを踏まえて個別課題を抽出しました。抽出した課題を経済的価値・社会的価値の2つの側面から評価し、関係各所との意見交換後、経営会議、取締役会を経てマテリアリティを特定しています。

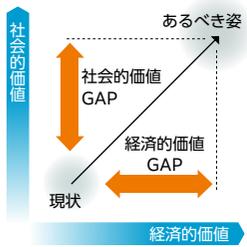
マテリアリティに関する主な目標と「中期経営計画2025-2027」は連動しています。

※ 国際的NGO「グローバル・レポーティング・イニシアティブ(GRI)」が発行するサステナビリティ情報開示に関するスタンダード

マテリアリティ特定のプロセス

STEP1 個別課題の抽出
「グループビジョン策定プロセスにおける検討内容」「ESG評価機関の評価項目」「ステークホルダーからの期待」などを踏まえて、30の個別課題を抽出しました。

STEP2 抽出した個別課題の整理・評価
STEP1で抽出した個別課題を基に、ワークショップにおいてマテリアリティ候補を検討。持続可能な社会とグループビジョンの実現に向け、経済的価値と社会的価値の2軸で、個別課題をマッピングしました。そのうち、共通する要素を持つ課題のグルーピングを実施しました。



STEP3 マテリアリティの特定
STEP2でグルーピングした内容についてディスカッションを行い、マテリアリティ案として整理。経営会議、取締役会を経て、マテリアリティを特定しました。

主なリスクと機会の整理

外部環境の変化	主なリスク	主な機会	マテリアリティ
気候変動(長期)	<ul style="list-style-type: none"> 天然ガス需要減 カーボンプライシングなどによるガス・電力販売価格上昇 法律・規制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> e-メタン、水素、再生エネルギーなどのカーボンニュートラルエネルギーと関連事業の普及拡大 省エネルギー機器の拡大、高度・高効率利用の促進 脱炭素化支援ニーズの高まり 	① カーボンニュートラルの推進
気候変動(短期) ライフスタイル・価値観の多様化	<ul style="list-style-type: none"> お客さま離れ、競争力低下 事業機会の損失 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー・トランジションの重要性向上 くらし・ビジネス分野の新商品・サービスの創出 イノベーションの促進 	② 多様なエネルギーとサービスの提供
地政学リスク 自然災害等の増加	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー調達難航 エネルギーコスト、資機材の高騰 風水害などの災害発生による供給支障 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害に強い製造・供給設備による地域の持続可能性の向上とお客さまの信頼獲得 新たな需要の拡大 	③ 安全・安心かつ安定したエネルギーの供給
少子高齢化による人口減 国内市場規模縮小	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー小売市場規模の縮小 労働力不足、地方の活力低下 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題解決による地域活性化 利便性向上、効率化に資する商品・サービスの拡大 	④ 社会課題解決を通じた地域への貢献
労働環境の変化 デジタル化の進展	<ul style="list-style-type: none"> 採用競争の激化と離職率の増加 能力・スキルと業務のミスマッチの発生 DX推進の遅延による生産性・業務効率の低下 	<ul style="list-style-type: none"> 人材多様化によるイノベーション推進 能力・スキル向上によるアウトプットの増加 DX推進による生産性の向上・業務効率化 	⑤ 働きがい・働きやすさの向上とダイバーシティの推進
企業の社会的責任の高まり	<ul style="list-style-type: none"> お客さま、投資家などのステークホルダーからの信頼低下 訴訟リスク、事業継続への支障の増加 	-	⑥ コンプライアンス・ガバナンスの強化

マテリアリティ

マテリアリティに関する主な目標

		指標・項目	目標		
①	カーボンニュートラルの推進	CO ₂ 削減貢献量 ^{*1}	300万t	[2030年度]	 P.31~P.34 P.39~P.44 P.57~P.59
		ガスのカーボンニュートラル化率 ^{*2}	販売するガスの5%以上	[2030年度]	
		e-メタン等の導入量	販売する都市ガスの1%以上	[2030年度]	
		再生取扱量	50万kW	[2030年度]	
		水素販売量	400t	[2027年度]	
		J-クレジット創出量	2,000t-CO ₂	[計画期間累計] ^{*3}	
		CO ₂ 分離回収技術「Cryo-Capture®」の開発	社会実装	[2030年度]	
②	多様なエネルギーとサービスの提供	エネルギー事業のお客さま数 ^{*4}	314万件	[2027年度]	 P.25~P.38
		(うち)LPGお客さま数	65万件	[2027年度]	
		都市ガス開発量	1億m ³	[計画期間累計] ^{*3}	
		電気販売量	30億kWh	[2027年度]	
		保有技術の外部売上高	70億円	[2027年度]	
		くらし周り商材・サービスの売上高 ^{*5}	200億円	[2027年度]	
		CN×P事業の売上高	130億円	[2027年度]	
		自動化した業務プロセスの累計	700件	[2027年度]	
③	安全・安心かつ安定したエネルギーの供給	DX推進人材数	200人	[2026年度]	 P.25~P.30
		本支管の耐震化率	100%	[2030年度] ^{*6}	
④	社会課題解決を通じた地域への貢献	供給エリアのブロック数 ^{*7}	109ブロック	[2027年度] ^{*6}	 P.35~P.38 P.57~P.66
		地域共生の活動件数	600件	[計画期間累計] ^{*3}	
⑤	働きがい・働きやすさの向上とダイバーシティの推進	エンゲージメント	継続的向上 ^{*8}		 P.45~P.54
		女性管理職数	50人以上	[2027年度] ^{*9}	
		女性総合職の採用比率	40%以上	[計画期間累計] ^{*3, *10}	
		障がい者雇用率	2.7%以上	[2027年度] ^{*11}	
		再雇用率	80%以上	[計画期間累計] ^{*3, *12}	
		健康経営認証	ホワイト500の認証取得を継続 ^{*8}		
		育休取得率	100%	[2027年度] ^{*10}	
⑥	コンプライアンス・ガバナンスの強化	人権侵害件数	ゼロ	[計画期間中]	 P.57~P.76
		環境保全の活動数	50件	[計画期間累計] ^{*3}	
		コンプライアンス	組織全体におけるコンプライアンス意識・リスク認識の共有・浸透		

- ※1 事業活動を通じたCO₂削減貢献量 (2021年度からの累積値、各年度の削減の基準は2020年度)
- ※2 多様な手段を通じ実現するカーボンニュートラル化率
- ※3 計画期間=2025-2027年度
- ※4 都市ガス・LPG・電気合計の延べ契約件数
- ※5 ガス機器・リフォームなどの売上高の合計
- ※6 対象は東邦ガスネットワーク(株)の供給エリア内
- ※7 自然災害発生時などに都市ガス供給を停止する単位
- ※8 対象は東邦ガス(株)およびエンゲージメント調査を実施するグループ会社
- ※9 新人事制度(2026年4月改定予定)に基づく数値であり、対象は東邦ガス(株)原籍の社員
- ※10 対象は東邦ガス(株)
- ※11 対象は東邦ガスグループ全体
- ※12 対象は定年退職時に東邦ガス(株)に在籍していた社員

[中期経営計画2022-2025]に連動した目標に対する2024年度実績詳細はWebサイトをご参照ください。

 https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/pdf/2025toho_web_materiality2024.pdf